

模擬審査会―「こんなイケン？」(R1.11.11)での意見まとめ

テーマ

- ①「楽しくない」 ②「暮らしぶらい」 ③「誇れない」 ④「働けない」

①「楽しくない」

(大学生プレゼン要旨)

- 昨年のワークショップでは「遊ぶところがないので楽しくない」という意見があった。
- しかし「遊ぶところがない」というのは逆にチャンスである。
- 新しい楽しみを発見するのも「楽しみ」。
- そこで「隠れスポットを探す」「歴史を調べてみる」を提案。
- まちを散歩して「隠れスポット」を探し、グルメや神社を巡る。
- 境港のグルメは市外から海鮮丼を食べにくる人がいるほど。神社は御朱印巡りがブームになっている。
- 歴史を知るということは、境港の新たな魅力を知ることにもなる。

(委員プレゼン要旨)

- 三方が海に囲まれていて、近くには大山もあり、海・山という自然がある。境港では、ヨットができるし、皆生に海水浴場もあるし、大山でスキーもできる。
- 水族館はないが、海とくらしの史料館というほかにはない、はく製の博物館がある。
- カニは有名で、東京からツアー客が来るほど。多くの観光客が境港市に来ている。



(高校生採点)

平均点数 3.2点 / 5点満点

(高校生意見)

- 散歩はたのしい。
- 自分で見つけるという考えが良かった。私は、境港は全部そろってないからこそその魅力を感じます。

- スポットがない。正直、この意見だと小・中学生ならワンチャンだけど、人によってはあんまりだと思う。
- 自然を見て歩いたり、自転車でサイクリングしながら回るのが好きなので、とても良いと思った。
- 海鮮丼おいしそうだった。
- 自分たちとは違う観点で境港市のことを見ている、良いと思いました。違う場所から来る人の考えを取り上げていいと思いました。高校生が言ったように、もう少し、中高生の立場になってみて考えてほしいと思いました。
- 中高生が「遊び」として楽しめる場がない。グルメのことは良いと思ったけど、高校生には値段が…。JRの待ち時間に暇つぶしできる場所がない。
- 自分的にはやっぱり遊ぶ場所を増やしてほしい。子どものころは遊ぶ場所には困らないけど、幅広い年齢に合わせた場所を作る。
- 神社巡りなどが楽しいと思う高校生はほとんどいないと思うけど、カフェ巡りなどは良いと思った。
- 自分たちから自ら歩いて探すという観点を踏まえた意見は良いと思った。情報発信はどうするか？
- 高校生とは違う考え方で良かった。
- 海鮮丼食べたいと思った！地理的にも便利だった。
- 知らないことを調べてみるの面白いと思った。今も有名なものに加えて自分で見つけた新しい楽しみもあれば十分だった。
- 10代、20代で神社や海鮮丼や魚を食べに行こうとはならないが、人口が少ない分、自転車で事故することが少ない。
- 目標が大人向け。

②「暮らしづらい」

(大学生プレゼン要旨)

- 昨年のワークショップでは「電車やバスの本数が少ない」という交通の不便さにより、暮らしづらいという意見が多かった。
- 具体案として、提示したいのが、まずは「運送用ドローン」。
- 無人機を使うことで、輸送にかかる人手や手間を減らすことができる。有名なのが、amazonが開発している配達ドローン。身近なところでは、島根県美里町で、まち全体でドローンを使って物資を輸送する計画があるとのこと。
- もう一つの提案が「シェアリング」。
- 身近な例では、図書館で本を借りて、用事が済んだら返すこと。
- 実際、自動車や自転車などある程度サービスが普及している。海外では、電動キックボードという学生でも簡単に乗れる乗り物が普及していて、自転車よりも楽に安く導入できるものもある。
- 境港ではこういう技術が有効だと思うので、みなさんでも調べてほしい。

(委員プレゼン要旨)

- 市内東西南北15分で行けるコンパクトシティ。小さい町だが、空港あり、税関ありと主要な機関があり、港があり、船が海外にも出ている。
- 災害に強いところも利点。
- 交通の便では、確かに、JRは1時間に1本。ただ、はまループバスの10代の利用は無料などサービスを充実させれば、多少便利は良くなる。



(高校生採点)

平均点数 3.9点 / 5点満点

(高校生意見)

- 電車を待つのはまだ大丈夫。
- シェアリングは良いけど、設置次第でまた変わるし、使用者的には交通便増加の方が良い。
- 流通の利用をしやすくすることはとても良いことだと思った。
- 具体案が出ていて良かった。
- シェアリングはとても良い案だと思った。
- 境港市内だけでなく、米子市など少し離れた場所に気軽に行くことができる方法があると良いと思いました。
- 自転車を持っている人が多いから（特に高校生）、シェアリングでなくても良いのでは？もう少し遠くに車を持っていなくても、簡単に行ける手段がほしい。「市全体が狭い」とはいえ、細い道が多くて危ない。
- 自分はあまり電車とかバスとかを使わないので、暮らしぶらいとは思わない。
- 実際に、運用されている具体例などを出して下さっていたので考えやすかった。ドローンは防犯面でどうかと思ったけど、自転車のシェアリングは良いと思った。
- 遊びに行くとき、電車の時間に合わせる⇒暮らしぶらい。
シェアリングが増える⇒住み良い。
- シェアリングの乗り物がとても良いと思った。
- シェアリングがあったら便利。災害に強いのは確かに大事だと思った。
- シェアリングの案は本当に良い案と思った。使用上の注意や数を充実させたりしたら良いサービスになると思った。すごく良いと思った。
- 現実的には何をしたら良いのかを考えている点がとても良いと思った。

③「誇れない」

(大学生プレゼン要旨)

- 境港には「魚」と「妖怪」しかないという意見があったが、自分からすると新鮮な魚と鬼太郎はとても誇れる魅力。「2つしかない」のではなく、「2つもある」と考えを転換してはどうか。
- また、境港ばかりを見るのではなく、他の自治体と比べてみると新しい魅力に気づくことができるのではないかと。他人がどう思うかではなく、自分にとっての誇りが見つけられたら良い。
- 境港の魅力に気づくことが大事。地元のイベントに参加したり、観光地を見て回ることを提案したい。
- 地元にいるからイベントや観光地には行かないかもしれないが、みなと祭には約 45,000 人の人が来ているし、観光地には何かを求めてくる人たちがいる。その何かが分かれば、魅力の再発見につながる。
- ここで生活を当たり前とってしまうと思うが、新鮮な気持ちを持てれば、新しい魅力が見つかるはず。なので、イベントや観光地に行くという簡単なことから始めてほしい。

(委員プレゼン要旨)

- 「誇れるまち」ってどういうまちなんだろう。どこのまちだったら誇れる？
- 東京にも大阪にも親戚がいる。境港はすごく羨ましがられるまち。
- 空港も漁港もターミナルもあり、新しいターミナルも来年できる。2,500m の滑走路がある空港はこの中国地方にはここだけ。海外に飛び立てる空港が境港にはある。
- 「魚」と「妖怪」しかない。「魚」と「妖怪」があるじゃないか。何もなかったところにさっき言ったようなことが充実してきた。それらをどう生かすか、それを若い皆さんからアイデアをいただきたい。
- 整備が充実して、海外からの観光客はまだまだ増える。船で来た方は半日しか時間がない。そこで興味を持ってもらうまちにしていく。そして、今度は、空港を利用して1日とか1週間とか過ごしてもらえらるまちにしていく。そこを皆さんと一緒に考えたいし、これからのまちを作るのは、皆さんの手にかかっていると思う。よろしくお願いします。



(高校生採点)

平均点数 3.9 点 / 5 点満点

(高校生意見)

- 地元イベントは良い。
- イベントに関しては、それ以上のものが多い。住んでいると分かりづらい。
- 地元のイベントにも参加してみたいと思った。
- 「2つしかない」⇒「2つもある」というのは良いと思った。
- 私自身も魅力が2つもあると考えるので、改めて境港を見るきっかけとなりました。
- 否定的ではなく、前向きに魅力について発表していて良いと思いました。
- 主観的ではなく、客観的に見るという部分は良いと思いました。
- 内側から見ているから気づけないものがあると分かった。イベントを高校生ももっと楽しめるように、行きたいと思えるようにすると良いと思った。
- 自分は境港が大好きで誇れています。誇れるものを作るんじゃなくて、誇れているものをいろいろな人に伝えていった方が良いと思う。
- 当たり前じゃなく、新鮮な気持ちで考えてみるということに共感しました。
- 素晴らしい、とても共感できた。
- 考え方を換えれば、誇れると思った。境港での暮らしを当たり前と思わずに新鮮な気持ちで暮らそうと思った。
- 思考を変えれば誇らしいと思える。すばらしいと思った。本当に。
- 2つしかないを2つもあるに変えるのは良いと思った。確かに、観光地をあまり詳しく見て回ったことはなかったので、良いと思った。すごく共感できた。

④「働けない」

(大学生プレゼン要旨)

- 「働く場所がない」という意見が多いが、境港で働いている人は 16,000 人くらいいる。働く場所がないわけではない。
- また、テレワーク・在宅ワークができるので、境港にいて都会の仕事をすることもできる。
- どんな企業がいるかを探してみることも楽しい（境港の企業を2社紹介）。これらを調べるのはネットで簡単にできるし、境港に住んでいれば、実際にまちを歩いてみることもできる。散歩とかに興味がないとのことだったが、鳥取の企業ガイドという本もある。家にも本やネットで情報収集ができるので、おすすめしたい。

(委員プレゼン要旨)

- 境港には空き地がたくさんあるので、空き地を活用して起業するという方法もある。
- 農地も多くあり、20代で白ねぎ農家を始める人も最近は多くいる。地元の特産で家族を養い、境港を白ねぎで有名にしたいという志を持った人も中にはいる。

- 境港の海や自然を生かした分野というのは、今後、AIが普及しても、取って代わられない分野。そういう将来性も考えてみても良いかもしれない。
- 自分の夢や希望が叶えられないということであれば、都会に出ても構わない。自分も最初は都会に出たが、家の都合もあり、戻ってきた。境港について全然知らなかったが、親や会社の関係やJC、PTA、消防団などを通して、まちのことを知った。困ったとき相談できる人ができたし、仕事に繋がる関係もできた。そういった関係は地元ならではのと思う。
- また、親と同居したり、近くに住むことで、子育て世代のときには、親に子どもの面倒を見てもらったり、将来、介護が必要になった際には見てあげることもできる。幸せの連鎖ができていく。
- 先ほど、2社紹介があったが、他にも市役所や美保基地など、まちのためにがんばっているところがあり、やりがいがある。
- コンパクトシティなので、通勤は自転車や徒歩も可能だし、お昼には自分の家に帰って食事を取ることもできる。時間的余裕もあり、趣味に力を入れることもできる。
- 境港でも、中には年収1千万稼ぐ人もいる。家族を豊かに、まちを豊かにする人が一人でも増えれば良いと思うので、一緒に頑張っていきましょう。



(高校生採点)

平均点数 3.8点 / 5点満点

(高校生意見)

- 年収1千万円、すごい。
- 本当に良い意見で、特に気になる点もなかった。
- 情報が多い社会なので難しいと思った。
- 自分も店を開きたいと思っているため、境港で自分の店を開いてみたいと思った。
- そもそも働けないと思ったことがない。
- 数が少ないため、やりたいことへの視野が広がらないと思いました。
注…プレゼンでの会社紹介の数と思われる。
- 空き地を利用することは良いことだと思いました。境港だけに縛られず、様々な人と関わったり、様々な仕事についてもっと知ることは大切だと思いました。
- 「働く場所がない」というより、「働きたい場所がない」だと思う。

- 働くための子育てしやすい制度を整える。
- 境に 16,000 人も働いている人がいることは今日初めて知ったし、家の中で仕事をするなどといった例もあって共感できた。
- 働く場はあると思う。「働きたい」場がない⇒会社を作れば良い。
- 境港の仕事だけじゃなく、まだ知らない仕事は絶対にあるので、調べてみたいと思った。
- 調べてみるのも楽しいと思った。起業なんて考えたこともなかった。調べてみたい。
- 調べてみるのはその通りだと思った。起業することも含めれば、たくさん就職するところはあると思った。
- 16,000 人という数字だけ見ると、少なくはないが、働く人が多い≠働く場所が多い。
“働きたい場所” が少ないのでは？

